

「環境的視点で考える“ものづくり”」

～平成 29 年度日本セラミックス協会 資源・環境関連材料講演・討論会～

資源・環境関連材料部会では、参加者の研究のレベルアップと有効な情報発信を目的として、メインテーマに関わる有識者の講演とともに、資源・環境分野の研究開発に深く関係する当協会の電子材料部会、セメント部会、陶磁器部会の協力の下、すべての資源・環境関連材料を対象とした研究成果について発表・討論するセッションを設けた「講演・討論会」を開催いたします。関連分野の研究に取り組まれている皆様の御参加をよろしくお願い致します。

【主催】公益社団法人日本セラミックス協会 資源・環境関連材料部会

【共催】地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター

【協賛(予定を含む)】日本化学会、応用物理学会、電気化学会、日本ファインセラミックス協会、
日本粘土学会、資源・素材学会、無機マテリアル学会、廃棄物資源循環学会、
産業技術総合研究所東北センターClayteam

【日時】平成 29 年 10 月 27 日(金) 10:30 ～ 19:00

【場所】東京都立産業技術研究センター本部 東京イノベーションハブ

(〒135-0064 東京都江東区青海 2-4-10 TEL 03-5530-2111(代表))

ゆりかもめ「テレコムセンター」駅前)

【定員】50 名

【メインテーマ】「環境的視点で考える“ものづくり”」

【テーマ主旨】環境に優しい素材の活用方法として 3R が知られていますが、現実的にはコストや品質に関わる課題とも相まって、なかなかビジネスとして拡がらない状況です。セラミックス材料においても例外ではありません。このような現況を踏まえ、環境的課題に対応する素材活用(=ものづくり)には、3R を含め、「どのような製品をつくるか」というコンセプトが重要と考えられます。そこで、本講演会では、環境的な評価要素を含めた「ものづくり」に関して、産官学の異なる講師の方々から解説いただくとともに、より環境性の高いものづくりを推進していくためのヒントをご提供いただきます。

【プログラム】

10:30～12:00 【見学会】(希望者のみ)東京都立産業技術研究センター本部

12:00～13:00 昼休み

13:00～13:05 開会の辞 日本セラミックス協会資源・環境関連材料部会長 安盛敦雄

13:05～13:10 挨拶 東京都立産業技術研究センター (未定)

13:10～13:50 <講演①>「リサイクル政策の現状と課題」

(経済産業省 産業技術環境局リサイクル推進課 近藤真 様)

13:50～14:30 <講演②>「LCA(ライフサイクルアセスメント)視点によるものづくり

～燃料電池に使用する希少金属と環境影響の見える化～」

(東京理科大学 教授 堂脇清志 様)

14:30～14:45 休憩

14:45～15:25 <講演③>「資源を有効に活用する事業の現状と課題」

(㈱リタケリサイクルセンター 社長 久野元康 様)

15:25～15:35 ポスター発表方法について (試験法主査 阪本尚孝)

15:35～16:05 ポスター発表ショートプレゼンテーション(@1min)

16:05～17:15 ポスター発表

17:30～19:00 意見交換会(技術交流会) 講師および参加者による意見交換

【講演内容】

<講演①> 「リサイクル政策の現状と課題」

講師:経済産業省 産業技術環境局リサイクル推進課 近藤真 様

現経済産業省においては、環境と経済が両立する社会の構築を目指し、資源の有効利用を促進するため、リサイクルなど3Rの推進に取り組んでいます。本講演では、リサイクル政策についてのこれまでの歩みや現在の動向、今後の課題などを伺います。

<講演②> 「LCA(ライフサイクルアセスメント)視点によるものづくり

～燃料電池に使用する希少金属と環境影響の見える化～

講師:東京理科大学 理工学部経営工学科 教授 堂脇清志 様

温暖化に対応するため、特に、欧州委員会を中心に ISO14040 で規定されている LCA の製品への実用化が開始されています。欧州委員会では、環境負荷を明示化するために、EPD (Environmental Product Declaration) に基づいたエコフットプリントを開発しています。我が国においても、モノづくりにおいて、このような EPD に基づくフットプリントが検討されるようになり、その一例として、本年度、日本の電機工業会において、家庭用燃料電池コージェネレーションシステム(通称 エネファーム)の LCA について検討されています。本講演では、燃料電池の LCA に加え、希少金属の影響と環境負荷の見える化について説明し、今後のものづくりで必要な指標について提案します。

<講演③> 「資源を有効に活用する事業の現状と課題」

講師:株式会社リタケリサイクルセンター 社長 久野元康 様

リタケリサイクルセンターは「リサイクル&グリーン」のスローガンのもとに、限りある資源を大切にしたい、リサイクル技術の開発、リサイクル材料の用途開発に取り組んでいます。使用済み砥石の収集運搬から再生砥石の製造、新たなリサイクル製品の開発・販売まで、一貫したリサイクルシステムで社会に貢献しています。この事業を進める上での工夫や留意点など、現場の生の声を伺います。

【ポスター発表】

- 対象テーマ: 資源・環境関連のセラミックス材料に関する内容全般。既発表の内容でも可。
- ボードのサイズ: 横幅 900×高さ 2100mm (推奨サイズ:A0)
- 発表時間: 15:35 から1件 1min のショートプレゼンテーション(質疑応答なし)の後、16:05～17:15
- 掲示時間: 10:30 より掲示可能
- 撤去時間: 17:15～17:30 に撤去してください

【発表申込方法】:発表申込締切 平成 29 年 9 月 28 日(木)

以下の項目を本文に明記した E-mail(件名は講演者の氏名)を下記アドレス宛にお送りください。項目毎に必ず改行してください。

申込先アドレス: sakamoto@fitc.pref.fukuoka.jp

(このメールアドレス以外は受け付けませんので、ご注意ください)

- ①発表題目,
- ②発表担当者氏名,
- ③所属先,
- ④申込連絡者の氏名,
- ⑤住所,
- ⑥電話番号,
- ⑦FAX 番号,
- ⑧E-mail アドレス

※平成 29 年 10 月 3 日(木)までに申込確認および発表概要原稿作成要領の連絡がない場合は、下記問合先にご連絡ください。

※発表概要は、幅 170mm, 高さ 75mm サイズのグラフィックアブストラクトを予定しています。

※発表担当者の方も、別途参加申込を行ってください(次項参照)。

【参加申込方法】:参加申込締切 平成 29 年 10 月 13 日(金) / 参加費送金締切 平成 29 年 10 月 19 日(木)

◎メールでのお申し込み:件名を「1027 講演会申し込み」とし、①氏名、②連絡先(E-mail、TEL/FAX)、③所属(会社名/大学名、部課/学部学科、等)、④会員資格の有無・学生(会員資格ありの場合は団体名を、学生の場合はその旨を記載)、⑤意見交換会(技術交流会)へのご出欠、を明記の上、下記申込み先まで電子メールにてお申し込みください。

◎Web によるお申し込み: 次のサイトにアクセスいただき、必要事項を入力後、送信してください。

<https://goo.gl/iwbU8w>

※詳細は次のサイトをご覧ください。 <http://www.ceramic.or.jp/bgenryo/>

※参加費は 10 月 19 日(木)までにご送金ください。

※ご送金いただいた後、取り消しによる返金は致しません。

【申込み・問合せ先】

福岡県工業技術センター 化学課 ナノセラミック材料チーム 阪本尚孝

〒818-8540 福岡県筑紫野市上古賀3丁目2-1

TEL 092-925-7721 FAX 092-925-7724

E-mail sakamoto@fitc.pref.fukuoka.jp

【参加費(講演予稿集, 消費税込)】

参加費は 10 月 19 日(木)までにご送金ください。ご送金いただいた後、取り消しによる返金は致しません。

日本セラミックス協会, 協賛学協会会員	5,000 円
非会員	8,000 円
学 生	2,000 円
意見交換会	3,000 円

【参加費振込先】:参加申込を済ませてから振り込んでください。

ゆうちょ銀行 資源・環境関連材料部会

シゲン カンキョウカンレンザイリョウブカイ

[ゆうちょ銀行から]記号 14060 口座番号 36752161

[他の金融機関から]店名 四〇八(ヨンゼロハチ) 店番号 408

普通口座 3675216

※振込受領書を領収書にかえさせていただきます。

※請求書の必要な方は別途お申し出ください。ただし、電子ファイルでの対応のみといたします。